

Murayama.Honda Dream.RT

2022年MFJ全日本ロードレース選手権

●第4戦 6/4(土)-5(日) スーパーバイクレース in SUGO

開催場所:スポーツランドSUGO (宮城県)



第4戦の舞台は宮城県にあるスポーツランドSUGOのインターナショナルレーシングコース。日本で最も標高差がある(69.83m)テクニカルなコースとして知られるサーキットだ。山形県天童市に拠点を置くMurayama.Honda Dream.RTにとってはホームグラウンドに位置付けられるサーキットで、「村山運送シケイン」と冠されたコーナーもある。

ここでMurayama.Honda Dream.RTはエースである秋吉選手が復帰。まだ第1戦で負った足の怪我は治りきっていないが、昨年のレースでは表彰台争いをするほど得意とするコースでの活躍が期待された。

予選・決勝に先立って6月3日(金)には公式練習走行「JSB1000

クラス特別スポーツ走行」が開催されたが、当日は降雨があり路面はウェットコンディション。その状況で秋吉選手は全体の5番手となるタイムをたたき出すなど復調の兆しも見えた。

翌土曜日の公式予選では天候が回復し、コースはドライとなり、秋吉選手はレース1、2ともに15番手スタートとなった。まだ怪我のため足に十分な荷重がかけられず、テクニカルなコースでは厳しい様子。しかし、ホームグラウンドである応援団の声援を受けて決勝レースではヒートアップ。同日に実施されたレース1ではオープニングラップで5台を抜き10位に浮上。SUGOは抜きどころが少ないコースともいわれ、予選やオープニングラップでの順位アップが重要だが、そのかけ引きを知り尽くしたベテランらしいレース運びだった。最終的に12位となったが、秋吉選手はこのレースで今季初ポイントを獲得した。

そして翌日のレース2でもスタートで4台を抜き、3周目には10位に位置するなど秋吉選手は期待に応えるアグレッシブな走りを披露。最終順位は13位となり、3ポイントを獲得した。今回もホンダドリームジャパンからのメカニックサポートを実施、メカニックの作業をスムーズに進める裏方でもあり、走行に合わせたスタンド上げおろし、タイヤウオーマーの管理など作業内容を増やして作業サポート。今回は仙台泉からレース運営をサポートした。

さて、全日本選手権JSB1000クラスの戦いは、このSUGOラウンドで前半戦が終了。これから鈴鹿8耐を経て、後半戦は8月27日(土)-28日(日)から開始される。チームとしても、これから鈴鹿8耐公開テストなどで、戦闘力を高めていく予定だ。

ファンの皆さんお待ちかねの2年ぶりとなる鈴鹿8時間耐久ロードレースは8月4日(木)~7日(日)にかけて開催される。今後はこのビッグイベントに向けてチームは邁進していく。



秋吉耕佑選手

■第4戦レース結果

レース1 予選15位 決勝12位 4ポイント獲得

レース2 予選15位 決勝13位 3ポイント獲得